



WEBにも掲載しています

編集 はなぐるま編集委員会
〒141-0031 品川区西五反田 3-6-3 TEL:3491-2000
sakilc@city.shinagawa.tokyo.jp FAX:3491-2002
発行元 大崎第一地域センター

五反田の昔 前編

近年、ITベンチャー企業の集積地として「五反田バレー」が知られるなど、新たなイメージが定着しつつある五反田。この地に長く住む五反田一丁目町会・前会長の伊與田正志さんと新会長の川野恵三郎さんに、前編では街の昔の風景、後編では地域の現在と未来について語っていただきました。

商店や料亭が建ち並ぶ

昭和初期の街並み

伊與田さん（以下、伊與田）…私の父は昭和4年に五反田で岡崎写真館を開業しました。私は昭和8年生まれです。写真館のあるソニー通り沿いは当時、木造3階建ての長屋がずらりと並び商店街でした。1階が提灯屋、八百屋、靴屋、食堂などのお店で、上階は住居になっています。



昭和初期の目黒川（御成橋付近）

商店街の裏手には松泉閣という大きな料亭がありました。かつて五反田ボウリングセンターがあった場所です。私が小学2年生の頃、料亭の敷地内にある大きな池のそばでよく遊びました。目黒川の水がきれいだった大正時代は、その池から川へ船が出

て利用客が船遊びをしていたそうです。当時の川には柵がなかったため、落ちてしまう人もいました。私は山本橋の辺りでよくトンボ捕りをしましたよ。それと、トイシで汲み取った汚物を運ぶ汚穢船が行き来していて、川幅が今よりも狭かったから船同士がぶつかるかと汚物がこぼれるのです。だから、周りが臭い時もありました。

戦後復興期の活気と、

穏やかな人付き合ひ

川野さん（以下、川野）…私は昭和18年生まれですが、第二次世界大戦中だったので生後すぐに群馬へ疎開して、昭和23年に五反田へ戻ってきました。戦後の風景でよく覚えているのは、焼け焦げた木材で建てたバラックの家がたくさんあったこと。その後、大崎から目黒にかけての川沿いに町工場がたくさんできて、この辺は飲み屋街になりました。仕事終わりの職人さんが一杯ひっかけているのをよく見ましたよ。

五反田駅西口は芸者街で見番が二つありました。大体170〜180人くらいの芸者さんがいたと思います。私が小学生の頃は芸者さんの娘や息子が同級生で、120畳くらいある宴会場の脇の広い廊下でよく遊びました。その間、お母さんは三味線や小唄など芸事の練習をしているのです。



大正時代の五反田駅。開業は明治44年10月15日



川野さん

伊與田さん

伊與田…父が町工場へ部品の撮影に行ったり、芸者さんの記念撮影をしに行ったりする時、私も時おり付いて行きました。当時の街の雰囲気はゆったりとして穏やか。みんないい人ばかりでした。

川野…私が子どもの頃は、小学校の運動会で町会別リレーがありました。桜会（五反田一丁目町会）は学年が入れ替わっても必ず3着で、なぜか優勝できないのです。とても印象的な思い出ですね。

伊與田…当時はお店や工場の上に住んでいる人が多く、地元愛の強い人ばかりでした。だから、雉子神社のお祭りはとてもにぎやかでしたよ。今は昼間の人口はありますが、住民は減っていると思います。

（編集委員 若松）

大崎第一地域センターでは、「はなぐるま」のほかにも SNS やサイトで、地域の様々な情報を発信しています。ぜひご覧ください！



Twitter @ WWjec5ui2p9LyDC



Instagram @ osakidai1



大崎×五反田 Link OSAKI×GOTANDA LINK

地域共創メディア 『大崎×五反田 LINK』

